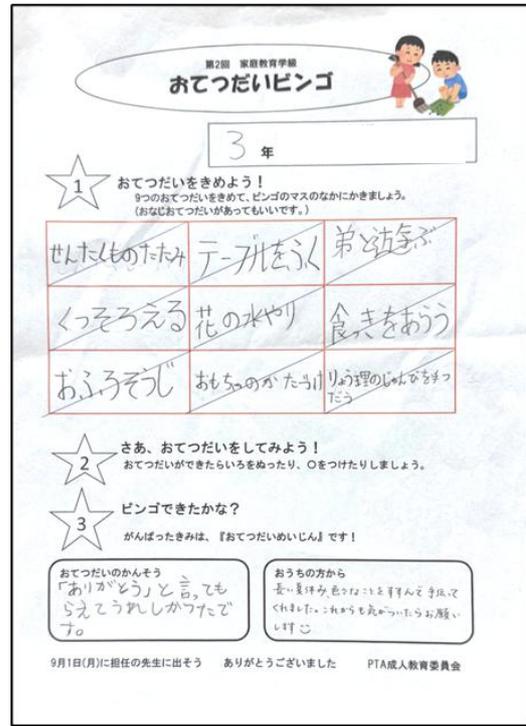




# 垂井町立表佐小学校

## (概要)

表佐小学校では、毎年夏季休業中に「親子料理作り」の家庭教育学級を行っています。令和7年度はそれに「お手伝い」を加えました。どちらも全校の親子対象の在宅取組型の家庭教育学級です。「親子料理作り」は、親子一緒に作りながら、できることを任せていきます。「おてつだいビンゴ」は、9つのマスそれぞれにお手伝いの内容を書き入れ、縦横斜めがそろうように取り組みます。保護者に無理のないように、両方取り組んでも、片方だけでもよいことにしています。



### 家族から

1食分作ることにチャレンジしてくれました。献立を考える大変さや複数同時に作る大変さを実感してくれたようです。何事もチャレンジだね。これからもいろいろ作ってみてね。

### 家族から

長い夏休み、いろいろなことを進んで手伝ってくれました。これからも気が付いたらお願いします(^-^)

### 子どもから

4品作る間、ずっと立っているのが大変で、いつものお母さんの大変さが分かった。

### 子どもから

「ありがとう」と言ってもらえてうれしかったです。

## (まとめ)

「親子・家族の会話を深め、できた事にはたくさん褒めてあげる。それが喜びとなり、いつも自分がしてもらっている事への感謝の気持ちにつながれば幸いです。」案内文に書かれた取組の願いにあるように、提出された実践カードには、子どもの成長ぶりやお互いに感謝を伝える親子の感想があふれていました。「親子料理作り」では、「3年生になって、できることが増え、会話をしながらの料理は楽しかったです。」「ほぼ1人で生地を作って焼くところまで上手にできました。安心して任せられるようになってきて、とても成長を感じました。」と、毎年続けて取り組んでいるからこそ、子どもの成長ぶりをより感じることができました。「おてつだいビンゴ」では、「毎日お母さんががんばっているということが分かりました。」「役に立てるようこれらもがんばりたいです。」と、家族の一員としての自覚が生まれてきました。